



01

Customer Report 02

「切る・つなぐ・環境保全」で社会に貢献

● Japan レッキス工業 株式会社

パイプのねじ切り機65%、転造ねじ加工機100%、ポリエチレン管 融着コントローラ70～80%——。配管機器の総合メーカーレッキス工業株式会社(大阪府大阪市、宮川純一社長)の主力製品はいずれも高いシェアを誇ります。「レッキスの名前を知らない業者は一人前ではない」と言われるほど業界における認知度は圧倒的。「王の中の王」を意味するラテン語を社名にした同社はどのように王道を歩んできたのでしょうか。

Osaka, Japan



02



03



04

- 01. 簡単に持ち運びできる小型・軽量のパイプねじ切り機の組立コンベアライン
- 02. 導入前に比べ生産効率を15%向上したマザックの横形マシニングセンタHCN-6000
- 03. HCN-6000による高速加工
- 04. 宮川常務(中央)と製造部マシニング加工グループの皆さん

COMPANY PROFILE



レッキス工業 株式会社

代表取締役社長: 宮川 純一
本 社 所 在 地: 大阪府東大阪市西心斎橋1-4-5
工 場 所 在 地: 大阪府東大阪市麓屋東1-9-3
従 業 員 数: 300名(グループ合計)
www.rexind.co.jp

REX

ワンランク上の余裕があるマザック機

主力製品で同社が占める高いシェアは配管設備の提案や課題解決に挑むという一貫した姿勢によるものです。実際、同社は「お客様・社員・社会の三者の利」を追求する「三利の向上」を社是に掲げ「切る・つなぐ・環境保全」という3つの事業分野を通じた社会貢献に力を入れています。事業分野別の売上比率はパイプマシンの「つなぐ」55%、バンドソーなどの「切る」20%、管内保全や水処理などの「環境保全」15%、その他10%の割合です。



長時間無人加工可能な6パレットチェンジャ付きマザック横形マシニングセンタHCN-6000

インフラという社会性の高い仕事に関わる製品の主要部品の加工を担当しているのがマザック機です。近年は15年と16年に横形マシニングセンタHCN-6000シリーズ(6パレットチェンジャ付き)を相次いで新規導入。「省スペースでコストパフォーマンスが高いことに惹かれました。この機械は□500mmテーブルサイズ機でありながら、X軸ストロークはワンランク上のテーブルサイズ他社機並みです。その上、昨年の



現場で容易に入替えできる、転造ねじ加工用ヘッド(左)と転造ねじ(右)の切り出し(右)の耐久試験結果。切削ねじパイプは曲げると簡単にねじ山が破壊

▶ HCNで加工されたパイプねじ切り機のダイヘッド部品(左)と同フレーム部品



Customer Report 02

● Japan レッキス工業 株式会社

導入機は最新のCNC装置マザックロール SmoothGを搭載して加工速度が速いので生産効率は導入前よりも15%向上しました。迅速なサポート体制にも満足しています。製造部を任される宮川一彦常務はマザック機を導入した経緯と効果をそのように明かします。



宮川常務、横田茂夫製造部長、寺尾秀雄立グループリーダー(右から)

2度の震災で社会とのつながりを強く意識

同社は、鋼管に比べて耐震性に優れているポリエチレン管の融着機器分野でも80%近いシェアを誇ります。阪神淡路、東日本という2つの大震災は耐震性強化の要望に応えた製品開発を促進する契機となりました。東日本大震災に伴う原発事故の際には全社体制でライフラインの復旧に協力し「当社事業と社会とのつながりを強く感じました」(宮川常務)。

現在、創業以来培ってきた技術や経験を踏まえたグローバル戦略を推進。米国、中国での生産拠点とともに、インフラ整備が進むタイとインドに販売拠点を設けました。今後は、国内外の売上構成比を現在の85%対15%から半々にする計画。根底には「三利の向上」の精神が脈々と息づいているようです。